

「FTSE4Good Index Series」および「FTSE JPX Blossom Japan Index」
の構成銘柄に3年連続で選定

東急株式会社

当社は、代表的なESG投資指数である「FTSE4Good Index Series」および「FTSE JPX Blossom Japan Index」の構成銘柄に3年連続で選定されました。これにより、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が採用する日本株のESG投資指数(6種)[※]すべてにおいて3年連続で選定されました。

「FTSE4Good Index Series」および「FTSE JPX Blossom Japan Index」は、グローバルインデックスプロバイダーである英国のFTSE Russell社により開発され、環境、社会、ガバナンス(ESG)について優れた対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計されたもので、サステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。FTSE Russell社の評価は「コーポレートガバナンス」、「人権」、「労働安全衛生」、「腐敗防止」、「気候変動」といった分野について行われており、「FTSE4Good Index Series」および「FTSE JPX Blossom Japan Index」の構成銘柄である企業は、環境、社会、ガバナンスに関するさまざまな基準を満たしています。

なお、当社は同じく代表的なESG投資指数である「MSCI Selection Indexes」および「SOMPOサステナビリティ・インデックス」の構成銘柄にも選定されています。

当社は、「安全・安心」「まちづくり」「生活環境品質」「ひとづくり」「脱炭素・循環型社会」「企業統治・コンプライアンス」をサステナブル重要テーマ(マテリアリティ)として設定しており、これらに向き合い、「未来に向けた美しい生活環境の創造」および「事業を通じた継続的な社会課題解決」に取り組んでいく“サステナブル経営”を経営の基本姿勢とし、ESGへの取り組みを強化し、非財務価値を高めることにより、持続的企業価値向上に努めていきます。

以上

※ 「FTSE JPX Blossom Japan Index」、「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」、「MSCI 日本株ESGセレクト・リーダーズ指数」、「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」、「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」および「Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数(除REIT)」

【別紙】

<参考>当社が構成銘柄に採用されているESG投資指数について

■FTSE4Good Index Series

英国のFTSE Russell社が世界の主要な企業からESG評価で優れた企業を選定し、構成される指数。

<https://www.lseg.com/ja/ftse-russell/indices/ftse4good>

■FTSE JPX Blossom Japan Index(GPIF採用指数)

英国のFTSE Russell社が開発した、「FTSE4Good Japan Index」の評価方法により、ESGの絶対評価が特に高い日本企業を選定し、構成される指数。

<https://www.lseg.com/ja/ftse-russell/indices/blossom-japan>

■MSCI Selection Indexes

米国のMSCI社が開発した、ESG(環境・社会・ガバナンス)への優れた取り組みが高い評価を受け、選定された企業で構成される指数。

<https://www.msci.com/indexes/group/selection-indexes>

■FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index(GPIF採用指数)

英国のFTSE Russell社のESG評価をベースに、温室効果ガス(GHG)排出量や気候変動への取り組みを評価・選定された日本企業で構成される指数。

<https://www.lseg.com/ja/ftse-russell/indices/blossom-japan>

■MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数(GPIF採用指数)

米国のMSCI社によるESG評価により、MSCI日本株IMI指数を構成する銘柄のうち、各業種内でESG評価の高い企業を選定され構成される指数。

<https://www.msci.com/msci-japan-esg-select-leaders-index-jp>

■MSCI日本株女性活躍指数(WIN)(GPIF採用指数)

米国のMSCI社が開発した指標で、女性活躍推進法により開示される女性雇用に関するデータや開示情報から、多面的に性別多様性に優れた企業を選定し、構成される指数。

<https://www.msci.com/msci-japan-empowering-women-index-jp>

■S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数(GPIF採用指数)

米国のS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス社と東京証券取引所が、TOPIXの構成銘柄の中から、各産業グループにおける炭素効率性の低い(売上高当たりの炭素排出量が多い)企業やリスク指標が一定以上の企業を除外して選定された企業で構成される指数。

<https://www.jpix.co.jp/markets/indices/carbon-efficient/index.html>

■Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数(除くREIT)(GPIF採用指数)

米国Morningstar社がオランダEquileap社のデータと評価手法を活用し、ジェンダー・ダイバーシティ・ポリシーが文化として浸透し、ジェンダーに関係なく従業員に平等な機会を約束している企業を選定し、構成される指数。

<https://indexes.morningstar.com/gender-diversity-indexes-jp>

■SOMPOサステナビリティ・インデックス

SOMPOリスクマネジメントが実施する「環境経営調査」と「ESG経営調査」によるESGスコアを基に、SOMPOアセットマネジメントが株式価値評価を組み合わせ独自に作成する指数。

<https://www.sompo-am.co.jp/institutional/product/06/>

<参考>

■当社のサステナブル経営への取り組み

<https://tokyu.disclosure.site/ja/>

<東急株式会社(連結)が貢献するSDGs(SDGs宣言)>

“美しい生活環境の創造”を目指し、交通をはじめとした生活インフラやサービスと一体となったサステナブルな「まちづくり」に取り組み、事業成長と社会課題解決を両立させ、SDGsに貢献します。



■環境ビジョン2040

当社では、環境と調和する街の実現に向けた取り組みをさらに推進するため、2022年3月に策定した「環境ビジョン2030」を改定し、2025年9月に「環境ビジョン2040」を策定しました。「環境ビジョン2040」では、2030年度に向けた従来の達成目標をより高い水準に更新するとともに、2035年度および2040年度に向けた達成目標を新たに設定し、「環境と調和する街」の実現に向け、取り組みを推進しています。

https://s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/sustainability-cms-tokyucorp-s3/pdf/Environmental_Vision_2040.pdf